

2007年度第2回

テラヘルツ応用セミナー

今回のセミナーでは、近赤外線照射と脳神経活動の相互作用に関する先駆的かつ独創的な研究を展開されている同志社大学大学院工学研究科の力丸教授を迎えご講演をいただくとともに、岩手県立大学の西澤名誉学長の指導の下、テラヘルツ領域の分子科学の研究に従事してきた財団法人半導体研究振興会の丹野研究員を迎え、テラヘルツの本質に迫る研究成果の報告を予定しております。

研究会会員並びに関係各位のご参加をお待ちしております。

と き：平成 19 年 10 月 18 日（木） 15：00～17：00

と ころ：岩手県立大学地域連携研究センター 1 階プレゼンテーション室（滝沢村字巣子 152-89）

プログラム

進行及び講師紹介
テラヘルツ応用研究会会長
岩手県立大学客員教授
渡辺 民朗

○ 特別講演 15：00～16：00

「近赤外レーザー照射による脳神経活動の可逆的変化」

同志社大学大学院工学研究科 教授 力丸 裕 氏

（岩手県立大学 地域連携研究センターテラヘルツ応用研究所 客員教授）

略 歴： 京都大学工学部卒。

'87年 米国 Northwestern 大学（Chicago）にて PhD 取得。

Washington 大学（St.Louis）にてコウモリ生物ソナーの神経機構解明の研究に従事

'91年 理化学研究所フロンティア研究システムにてサルの聴覚中枢研究を開始。

'94年 科学技術庁「さきがけ21」研究員。

'95年 同志社大学工学部知識工学科（現インテリジェント情報工学科）教授

○ 研究発表 16：00～17：00

「有機分子のテラヘルツ帯振動について」

財団法人半導体研究振興会 研究員 丹野 剛紀 氏

